

# ハイテク機器製造業が IFS Cloud を検討する 5つの理由



## 1. 包括的なビジネス・ソリューション

設計からエンジニアリング、製造、納品からサービス、修理まで、製品ライフサイクル全体をサポート

IFS Cloud では、すべてがひとつの場所に集約され、信頼できるひとつの情報源を提供します。これは、製品をより早く市場に出すこと、より高品質な製品を生産すること、製品の安全性を向上させること、販売機会を増やすこと、エラーや無駄を減らすことを意味します。



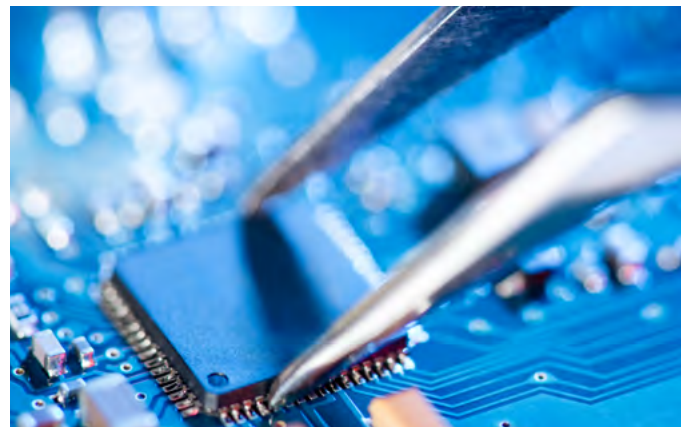
## 2. 高度なスケジューリング

AI (人工知能) を組み込んだ需要予測

人工知能は、パターンと傾向を識別するのに役立つ IFS Demand Planner (需要計画) ツールの不可欠な部分です。また、外部ソースにリンクして、予測の精度を向上させることもできます。

**Demand Driven Institute から認定された需要主導型 MRP (DDMRP: Demand Driven Material Requirements Planning)**

IFS のバッファレベルは、ベストプラクティスの普及を担う Demand Driven Institute によって承認および認証されたアルゴリズムに基づいて設定されます。



## 3. 統合プロジェクト管理

完全なプロジェクト・リソースおよびコスト管理

IFS Cloud では、包括的なプロジェクトの人的リソースと資材計画の支援機能が提供されています。これは、予測コスト、生産能力、時間を綿密に追跡できるため、プロジェクトのコスト効率を可能な限り高めることができます。

**プロジェクト固有の在庫管理**

特定のプロジェクトで使用するために購入したパーツの管理と保管は、プロジェクトに付き物の課題です。IFS Cloud では、プロジェクト在庫が保護され、許可なしでは使用できないため、在庫の不足を低減できます。



## 4. オペレーショナル・インテリジェンス

**すぐに使える業種に特化したロビー：ユーザーは少ないトレーニングでタスクを開始できます**

IFS Cloud ユーザーインターフェイスには、プロセスフローの一部として、ユーザーを正しい画面に導く「ロビー」の機能が含まれています。これらは標準機能として製品に組み込まれているため、ユーザーは自分の役割を実行するために必要な画面をすばやく見つけることができます。

**すぐに利用できる製造 KPI：必要なアクションを素早く把握できます**

KPI は通常、製品のインストール後に設定します。しかし、IFS Cloud では、プロセスごとに業界標準の KPI が提供されているので、セットアップにかかる時間を数週間短縮できます。また、ユーザーは初めからアクションを取るべき情報にアクセスできます。

**マニュファクチャリング・ビジュアライザー：需要予測および計画に対して、使用可能なリソースを可視化します**

利用可能なリソースをグラフィカルに表示できるため、期間中の生産能力がリソースを下回っているか超えているかを簡単に把握できます。これは、意思決定を改善するための貴重な情報を提供します。



## 5. 統合された品質管理と文書管理

**コンプライアンス、監査、品質計画に対応した品質管理**

製造工程のどの時点でも、問題を発見した担当者が問題発生時に逸脱または不適合のレポートを作成できます。

これにより、機械のオペレータや物品の受入担当者が問題の原因を特定することで、時間を節約し、品質問題が発生している場所の全体像を可視化することができます。これらの問題は、監査可能な、一貫した品質プロセスを通じて処理できます。

**十分な情報提供とリビジョン管理を可能にする文書管理**

完全なリビジョン管理を可能にする文書管理機能は、IFS Cloud のすべてのプロセスで利用できます。つまり、物理的なアーカイブからハード・コピーを検索する必要がなくなり、一時的な情報や書類を検索するためのリクエストを削減することで時間を節約できます。たとえば、すべての安全性に関する文書や評価レポートを物品受領書に添付できるため、必要に応じて誰でも情報にアクセスできます。